

Ⅲ 課題別普及活動計画

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
1	農業後継者の育成	就農3年以内の農業後継者への支援 ・農業基礎技術の習得(平均習得度4段階自己評価3以上0→70%)	北見市 訓子府町 置戸町	新規就農者 研修受講生 (就農3年以内20名)	渡邊係長 飯田専普 會見専普 火ノ川専普 藤本普指 斉藤普指 山田普指 佐藤普職	R5 ～ R6	本所 地域係
2	○生産基盤強化による持続的な農業の確立	畑作物・園芸作物の安定生産 畑作物の栽培技術向上 適正な輪作に向けた土壌pH改善の実践 (0戸→0戸→1戸) 有機物投入による土壌物理性改善の実践 (0戸→0戸→1戸) 小豆の安定生産に向けた栽培法の検討 (0戸→0戸→1戸) 経営管理能力の向上 経営分析(生産費集計)の実践(0戸→7戸→7戸) 労働補完システムの実践 (0戸→2戸→2戸)	北見市 北見自治区	北見市相内 柏木地区 (7戸)	越智係長 飯田専普 戸田専普 火ノ川専普 藤本普職 葛西次長	R3 ～ R7	本所 第一係
3	経営管理能力の向上	経営分析(生産費集計システム)の定着(実施戸数6戸→6戸)	北見市 北見自治区	北見市大和 地区(旧重点地区) (6戸)	越智係長 飯田専普 戸田専普 火ノ川専普 藤本普指	R5	本所 第一係
4	○生産性の高い持続可能な農業の確立 Part2	ほ場の生産性向上と各作物の安定生産 土壌物理性改善対策の実践と効果検証 カッター施工戸数 (4戸→4戸→6戸) カッター施工筆数 (7筆→7筆→10筆) 地域の将来を担う若手農業者への支援 個々課題の設定と解決(取組数0個→4個→5個)	北見市 端野自治区	協和地区 (25戸)	千田係長 會見専普 山田普指 佐藤普職 葛西次長	R3 ～ R7	本所 第二係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
5	秋まき小麦の安定生産	ゆめちからの栽培管理技術の習得 子実タンパク (R4年産15.7%→14.0%以下)	北見市 常呂自治区	ゆめちから作付農業者 (83戸)	會見専普 山田普指 佐藤普職 千田係長	R4 ～ R6	本所 第二係
6	○若手農業者を核とした地域農業の発展	地域を支える若手農業者の育成 ・自主的学習活動の実践 (自主的課題計画による取り組み農家戸数 2戸→3戸) 粘質土壌における安定生産 ・土壌改良技術の実践 (土壌改良実証ほ設置農家戸数 0戸→2戸)	置戸町	幸岡地区 (5戸)	渡邊係長 木島専主 佐藤専主 斉藤普指 中田主査 葛西次長	R3 ～ R7	本所 第三係
7	新規導入作物(大豆)の栽培管理技術の向上	新規作物(大豆)導入農業者に対する技術支援 (営農計画反収達成農家戸数 (10戸))	訓子府町	新規作物(大豆)作付農業者(15戸)	中田主査 木島専主 佐藤専主 斉藤普指 渡邊係長	R5 ～ R7	本所 第三係
8	和牛素牛の生産性の向上	飼養管理技術の向上 (飼養管理改善実施農家 0戸→2戸以上)	清里町	清里町和牛生産改良組合(10戸)	米田専主 竜滝主査	R5	清里支 所地域 係
9	ジャガイモシストセンチュウ類対抗植物の栽培技術の確立	トマト野生種栽培技術の確立支援 (トマト野生種作付支援農家 28戸→28戸)	斜里町 清里町	でん粉原料ばれいしょ耕作者(37戸)	竜滝主査 高橋支所長 小山係長 清水係長	R3 ～ R5	清里支 所地域 係
10	○種子用ばれいしょの安定供給を中心とした持続的な地域農業の確立	畑作物栽培技術の向上 ・てん菜の収量向上 ・秋まき小麦の安定生産 (土壌pHの改善実践ほ場数 0筆→9筆→12筆) 持続可能な地域農業システムの構築 ・新規法人の経営の安定化 (効率的な法人運営のための検討会の実施 0回→0回→2回)	清里町	清泉地区 (6戸)	小山係長 米田専主 元木普指 松田専職 横市専職 萬歳普職 藤原普職 竜滝主査	R3 ～ R7	清里支 所第一 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
11	大豆の安定生産技術の確立	新品種「とよまどか」の栽培技術の向上 (改善試験実施農家数 1戸→1戸)	小清水町	小清水町豆 類耕作部会 (約130名)	藤原普職 小山係長 萬歳普職	R4 ～ R5	清里支 所第一 係
12	4 Hクラブの活動 支援	青年農業者の資質向上に向 けたプロジェクト活動支援 (町内の営農懇談会でのプ ロジェクト発表回数 0回→1回)	清里町	清里町プ ライズク ラブ (20名)	元木普指 松田専普	R5	清里支 所第一 係
13	斜里郡3町農村活 性化ネットワー ク愛夢ネットの活動 支援	研修会の実施 (3回→3回)	小清水町 斜里町 清里町	斜里郡3町 女性農業者 (16戸)	前野専普 横市専職 清水係長	R5	清里支 所地域 係
14	○大規模畑作経営 における地域モデ ルの構築	規模拡大に応じた経営体の 強化 ・共同作業組織の運営ルー ル策定(策定数1→3) 大規模経営における畑作物 安定確収技術の確立 ・ばれいしょ新品種栽培技 術の導入 (2戸→3戸) ・豆類適正栽培技術の導入 (0戸→3戸)	斜里町	秋の川地区 (6戸)	清水係長 前野専普 犬塚普指 中坂普職 高橋支所 長	R3 ～ R7	清里支 所第二 係
15	○輪作体系の再構 築による持続可能 な農業経営の確立	新規作物の導入による輪作 体系の確立 大豆栽培技術の向上 (3戸→5戸) 畑作物の安定生産 てんさい栽植株数の適正化 (3戸→5戸) てんさい直播栽培技術の向 上(0戸→5戸)	網走市	中園第16地 区 (6戸1法 人)	斎藤係長 岩間専普 志鎌専普 岩本普指 伊藤普職 茂木普職 堀野主査 相馬支所 長	R3 ～ R7	網走支 所地域 係
16	I C Tの効果的利 用	小麦可変施肥の活用 (0戸→2戸)	網走市	(株)オホー ツク網走26 (7戸1 法人)	斎藤係長 岩本普指 伊藤普職 堀野主査	R5 ～ R6	網走支 所地域 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
17	新規就農者実践研修支援	新規就農者に対する研修支援・技術の習得 (研修受講生(2年生)の平均習得度5段階で3.5以上80%)	網走市 大空町東 藻琴	研修受講生 (11名)	茂木普職 伊藤普職 志鎌専普 岩本普指	R3 ～ R7	網走支 所地域 係
18	ジャガイモシストセンチュウ類抵抗性品種の栽培法確立	適正な防除方法の推進 (実施戸数24戸→24戸)	網走市 大空町東 藻琴	でん粉原料 用ばれいし よ耕作者 (24戸)	堀野主査 相馬支所 長 斉藤係長 岩本普指	R3 ～ R7	網走支 所地域 係
19	ながいもの安定生産	ウイルス病予防策の推進 (実施戸数0戸→3戸)	網走市 大空町東 藻琴	ながいも作 付け農家 (7戸)	岩間専普 茂木普職	R5	網走支 所地域 係
20	生乳生産性の向上	体細胞数の削減 バルク乳の 体細胞数30.4万以下 29→32/36旬(90%以上)	網走市 大空町東 藻琴	酪農家 (4戸)	志鎌専普 斉藤係長	R4 ～ R5	網走支 所地域 係
21	○適切な輪作とICT活用による地域農業生産基盤の確立	畑作物の生産性向上 ・持続可能な農業に向けた新規作物の導入 (新規作物導入農家戸数0戸→1戸) ・施肥の分施体系導入によるコスト低減 (実施農家戸数0戸→2戸) ○ICT技術の活用推進 ・可変施肥の活用に向けた生育指標の設定 (実施農家戸数0戸→3戸)	津別町	恩根地区 (6戸、内 協業法人1 戸、1戸法 人1戸)	荒木係長 中野専普 田村専普 安藤専普 斎藤普指 河田普職 石垣普職 藤江普職 佐々木支 所長	R3 ～ R7	美幌支 所地域 係
22	将来を見据えたたまねぎの安定生産	連作ほ場における地力向上 技術の導入 (実践農家0戸→2戸)	美幌町 津別町 大空町女 満別	昭野・美和 地区 (30戸)	荒木係長 中野専普 斎藤普指	R5 ～ R7	美幌支 所地域 係
23	酪農家の粗飼料確保量および品質の向上	粗飼料の安定確保対策の推進 (実践事例 0→2事例)	美幌町 津別町 大空町女 満別	酪農家 (38戸)	山田主査 安藤専普	R5 ～ R7	美幌支 所地域 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
24	地域を担う農業後継者の育成	美幌地区農村ゼミナールを通じた技術・知識の習得 (習熟度向上率0→75%)	美幌町 大空町女 満別	農村ゼミナール生 (32名)	荒木係長 中野専普 田村専普 安藤専普 斎藤普指 河田普職 石垣普職	R4 ～ R5	美幌支 所地域 係
25	○次代につなぐ地域農業基盤の確立	労働環境の充実と安定生産 ・労働整備実施 (実施戸数4戸→5戸) 法人の充実で効率的な農作業の展開 ・法人運営充実に係る 検討案件数 (実施数7→9件) 地域営農システムの発展 ・地域の担い手育成 (整備数7→8課題)	遠軽町	生田原安国地区 (2法人・7戸)	浦上係長 笠井専主 新井普指 吉田専普 近藤普指 上原専職 花岡支所長	R3 ～ R7	遠軽支 所第一 係
26	地域の活性化支援	社名淵地域の労働補完・システム検討支援 (システム検討回数 現状6→8回)	遠軽町	社名淵地区 農業者 (1法人、4戸)	笠井専主 浦上係長 新井専普	R3 ～ R5	遠軽支 所第一 係
27	大豆栽培の安定化支援	大豆収量の安定化 ・収量性の向上 (収量6%向上 現状 231kg/10a→245kg/10a)	湧別町 遠軽町	JAえんゆう 大豆栽培農業者(1法人、16戸)	吉田専普 上原専職 浦上係長	R3 ～ R5	遠軽支 所第一 係
28	新規就農を目指す研修生への支援	第三者継承支援 ・農業経営技術の向上 (営農計画樹立 現状2→3戸)	遠軽町	遠軽町 生田原地区 研修生 (3戸)	浦上係長 笠井専主 近藤普指 上原専職	R4 ～ R5	遠軽支 所第一 係
29	信頼される産地の育成	食品安全・環境保全・労働安全などの農業の持続可能性を確保するための生産工程管理実践支援(GAP認証の取得 現状3→4戸)	湧別町 遠軽町	湧別町上湧別地区及び遠軽町志向農業者 (3戸)	浦上係長 笠井専主 吉田専普 上原専職	R4 ～ R5	遠軽支 所第一 係
30	粗飼料収量性の向上	牧草地管理技術の向上 (有機物施用を考慮した施肥の見直し 未実施→実施)	佐呂間町	J A サロマ TMR センター	黒坂普職 三浦主査	R5	遠軽支 所第二 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
31	○飼養管理改善による酪農経営の安定化	飼養管理技術の向上 (リニアスコア2.6以下 2戸→3戸) 搾乳機器点検整備による 乳質の向上 (生菌数の低減、乳房炎感染の低減 3戸→4戸)	湧別町	湧別町川西 第2地区 (6戸)	丹羽係長 吉田専主 水野専普 黒坂普職 三浦主査 花岡支所長	R3 ～ R7	遠軽支 所第二 係
32	新規就農者の飼養管理技術安定化	TMR給与技術の向上 (分娩時乳中ケトン体(BHB)の低減 1戸→2戸)	湧別町	新規就農者 (2戸)	黒坂普職 三浦主査	R5	遠軽支 所第二 係
33	○地域資源の活用で効率的な酪農経営 (畜産クラスター事業、畜産ICT事業)	生産性の高い技術の確立 (飼養管理改善の実施農業 者戸数3戸→4戸) 雇用労働者の作業効率化支 援(作業環境改善の実施 取組達成度向上戸数0戸→ 4戸)	紋別市	奥東・立牛 地区 (7戸)	坂口係長 宿澤専普 服部専普 切木普指 南義普職 太田支所長	R3 ～ R7	紋別支 所第一 係
34	秋まき小麦の生産性向上	栽培管理技術の改善 (施肥改善実施農家戸数0 →6戸)	紋別市 滝上町	畑作振興会 小麦生産部 会(18戸)	服部専普 宿澤専普	R5 ～ R6	紋別支 所第一 係
35	農場後継者、従業員の技術向上支援	講習会や視察研修による畜 農技術、経営管理力等の向 上 (研修会開催2→5回)	紋別市 滝上町 西興部村	農場後継 者、従業員、 ベトナム人 実習生	切木普指 南義普職 坂口係長	R5	紋別支 所第一 係
36	TMRセンターの粗飼料確保支援	低収量草地への追播による 収量改善 (収量改善2→4ほ場)	西興部村	西興部グ ラスフィー ドファクト リー	切木普指 南義普職	R5 ～ R6	紋別支 所第一 係
37	○安定生産を実現する酪農経営の確立 (中山間事業、畜産クラスター関連事業、草地難防除雑草駆除対策事業)	飼料管理改善 ・繁殖管理改善実施農家戸 数 (改善実施農家戸数1戸→ 3戸) 飼料作物の安定栽培 ・良質粗飼料確保に向けた 改善実施農家戸数 (改善実施農家戸数1戸→ 2戸)	雄武町	栄丘地区 (5戸)	金子係長 石松普職 安沢普指 小沼普職 太田支所長	R3 ～ R7	紋別支 所第二 係

(○：重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的推進事項 (目標事項 現況→本年度目標)	主たる 対象市町村	普及対象	担当者	活動 期間	担当係
38	スマート農業の推進	スマート農業の推進 ・スマート農業の実態調査 (調査戸数 1 戸→ 2 戸)	雄武町 興部町	雄武町 興部町 農家	安沢普指 石松普指 金子係長	R3 ～ R7	紋別支 所第二 係
39	新規就農者の技術 習得支援	酪農経営の安定化 ・酪農経営技術の習得 (技術習得農家戸数 1 戸→ 2 戸)	興部町	新規就農者 (3 戸)	石松普指 安沢普指	R4 ～ R6	紋別支 所第二 係

2 広域推進事項一覧

業務区分	推 進 事 項 名 (関連事業)	主たる 対象市町村名	普及対象	担当者
担い手	地域農業を担う多様な人材の育成	管内農業者	管内農業者	大畑主査
情報・クリーン・有機	情報の共有と情報発信の充実 持続可能な農業の実践支援	管内農業者	管内農業者	樋口主査
高付加価値化	地域活性化に向けた高付加価値化の推進	管内農業者	管内農業者	中川主査